

I - 6

NISE Graphic用点図・点字出力
コードコンバータの作成

I - 6 NISE Graphic用点図・点字出力コードコンバータの作成

1. はじめに

これまで、既に多くの点図データが、EDELや点図くんで作られてきている。これらのデータは、点字プリンタESA721 Ver'95や、その同系統のNew ESA721で出力できるが、それらと出力コードやピッチなどの仕様が異なるNISE Graphicでは出力できない。

そこで、ESA721 Ver'95への点図出力コードを、NISE Graphicの出力コードに変換する「NISE Graphic用点図・点字出力コードコンバータ」（以下、出力コンバータと記す）を作成した。なお、

New ESA721はESA721 Ver'95と出力コード等の仕様が同じなので、このコンバータは、この点字プリンタ用に作成された点図データにも対応するものである。

2. 概要

この出力コンバータは、コンピュータと点字プリンタNISE Graphicとの間を、RS232Cケーブルでつなぐものである。

出力コンバータとコンピュータ、及び点字プリンタとの接続状況および、その外観を、図1に示す。

このように、コンピュータとNISE Graphicの間



図1 出力コンバータの接続状況

白枠内は出力コンバータの拡大写真。図2に示す点図を出力したところである。

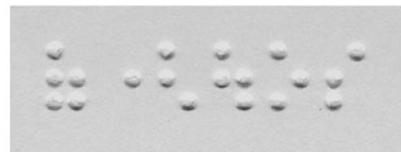
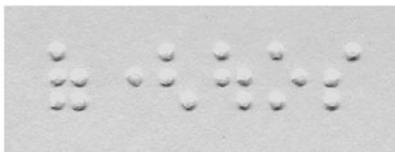
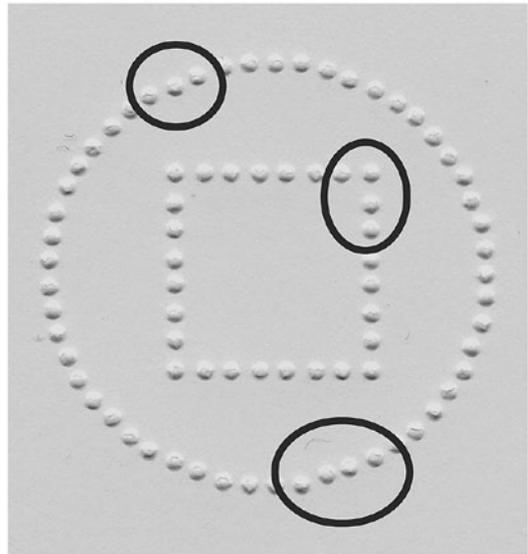
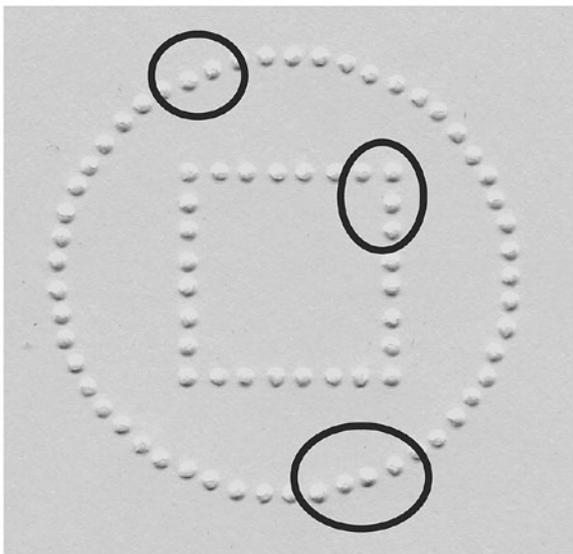
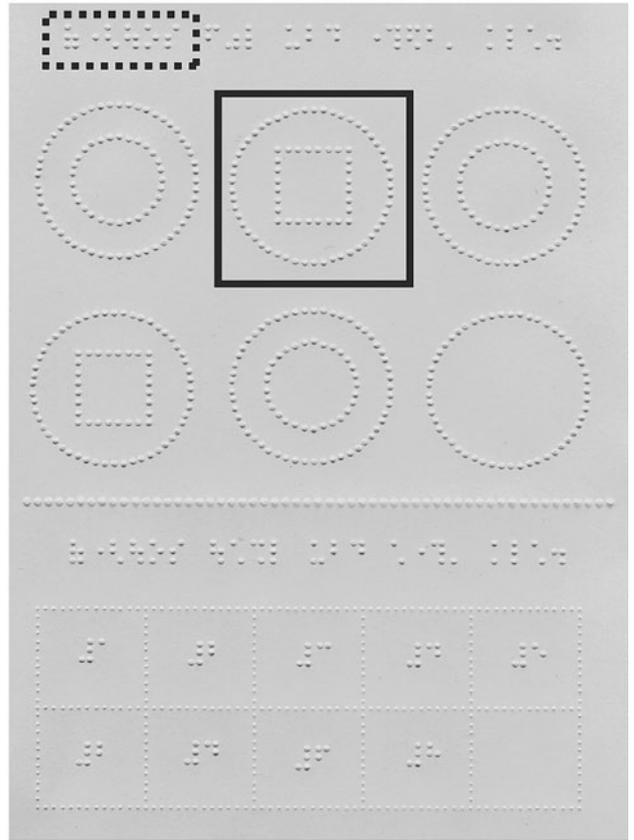
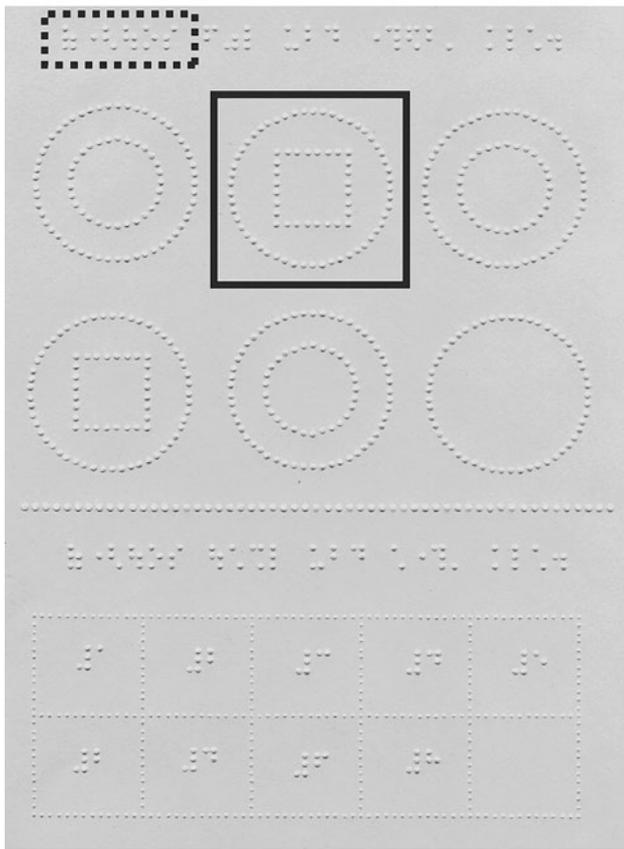


図2 旧プリンタによる出力と出力コンバータを介した新プリンタでの出力

左が点字プリンタESA721 Ver'95による出力で、右が出力コンバータを介した新プリンタNISE Graphicによる出力である。また、左中と右中は、それぞれ、上の実線の四角で囲んだ部分の拡大図である。そのなかの、丸枠で示した部分を見ると、同じように点の位置が、円や直線からずれていたたり、点間隔が一定でないことが分かる。また、左下と右下は上の波線の四角で囲んだ点字の拡大図である。

に、この出力コンバータを介して、既存のデータを、EDELや点図くんなどから、ESA721 Ver'95あるいはNew ESA721への出力設定で、出力すれば、NISE Graphicで、前2者に対するのと同じ点図が出力できる。NISE GraphicとESA721 Ver'95、New ESA721は、大・中・小の3つ大きさの点を出力でき、3台のプリンタで、大・中・小の大きさは同じであるが、この大・中・小の各点にも、この出力コンバータは対応している。

また、この出力コンバータは、点字出力にも対応しており、点図に挿入された点字および、BESやBASEなどの点字エディタで作成された点字データについても、既存のデータを、NISE Graphicでも、同様に出力できる。

3. 出力結果

図2に、EDELで作成した点図のデータを、そこに挿入した点字の出力も含めて、ESA721 Ver'95で出力したものと、この出力コンバータを介して、NISE Graphicで出力した結果の例を示す。

このように、出力コンバータを介して、EDELから、NISE Graphicで出力したものと、ESA721 Ver'95で出力したものは、点図における点の位置のずれ方まで含めて、一致していると言える。図2の中の図の比較でも分かるように、円上に並んでいな

い点も、直線上で点間隔が一定でない点も、そのまま、同じに出力されている。逆に、ここで、NISE Graphicでの出力が、正確な出力であると考えられるなら、ESA721 Ver'95での出力も、そのピッチに対応した、出力データの通りの出力であるとも考えられる。また、点字についても、同じ出力結果が得られていると言える。

4. おわりに

この出力コンバータは、ESA721 Ver'95やNew ESA721のピッチをNISE Graphicにおける、それに一番近いピッチに置き換えて、同じ点図を出力するものなので、NISE Graphicの高い精度を生かすものではない。上記のように、ESA721 Ver'95やNew ESA721で、点の位置がずれて出力されるものは、出力コンバータを介したNISE Graphicによる出力でも、点の位置がずれたまま出力されることになる。

しかし、この出力コンバータは、既存のデータを、点字のデータを含めて利用できるという点で、有用であると言える。少なくとも、点字のデータについては、ESA721 Ver'95やNew ESA721で得られるのと同じ出力を、NISE Graphicでも得られると言える。

(金子 健・大内 進・大旗慎一【株式会社キューズ】)

